

薬物・アルコール依存症回復支援施設

岡山DARC通信

INDEX

TOP NEWS		1
Message	りゆう	2
Message	カメ	3
Message	ジミー	4
Photograph	活動写真	5
Activety reports	活動報告	6
Information	びあの会	7
献金報告・お願い		8

ダルクと保護観察所のプログラム

岡山保護観察所 川谷 千加

毎月、岡山保護観察所で実施する薬物再乱用防止プログラムに、ダルクスタッフの方に参加いただいています。当庁に限りませんが、保護観察所のプログラムは、ほとんどが受講しなければ仮釈放や執行猶予の取消しなど、ペナルティの対象となるものであり、受講者は断薬動機や治療動機の低い人が少なからず含まれているという特徴があります。そのような中、彼らにかつての自身の姿を重ね、共感し、先行く仲間として語りかけて示唆を与えてくれるダルクスタッフの存在に、感謝の念を抱くとともに、参加いただくことの大きな意義を感じています。

保護観察所のプログラムは、簡易薬物検出検査とセットで行うため、常にクリーンであることを前提とし、要求している側面があります。そのような中で、受講者は「正直でいること」は難しいように思います。加えて、平成28年から始まった一部執行猶予制度の保護観察ともなれば、プログラムを2年3年と受け続ける人もおり、受講者側の負担も大きいことでしょう。

他方で、保護観察所のプログラムは、自助グループへの参加や、医療機関への通院など、保護観察所のプログラムによらない断薬に向けた取組みが認められる場合には、終了させることができるのです。昨年12月の法改正では、ダルクなどの回復施設や、医療機関等で、依存症治療を受けることを、「特別遵守事項」として定めることができるようになりました。これらはいずれも、やがて終わる保護観察期間を見据えて、早期から地域の社会資源へつながる(つなげる)ことを目的としたものであり、保護観察所の役割は、こうした地域の適切な支援につながるための橋渡し・仲介役にあると考えます。

こうした所期の目的を達するため、ダルクの皆様にも、引き続きのご支援とご協力を、よろしくお願いたします。今後、一層の連携を深め、1人でも多くの受講者がダルクへつながる機会が得られることを願い、巻頭の挨拶とさせていただきます。

編集人：NPO法人リカバリーポイント
岡山ダルク

住所：〒701-4244
岡山県瀬戸内市邑久町福中477
TEL 0869-24-7522
FAX 0869-24-7523

《Eメールアドレス》
okayama-darc

@key.ocn.ne.jp

～贖罪寄付に関しては受け付けをしています～



Okayama DARC

NPO Recovery Point

『感謝連打』 りゅう(4フェーズ)



先日、埋め合わせ(8・9ステップ)を兼ね、実家に帰った事がありました。僕がダルクに繋がったのが12年半前です。その間、弟は結婚し息子・娘も生まれ一家を築いていました。家まで建てて随分、立派な父親になっていました。弟の娘は僕の事を「あにき一つあにき一つ」と呼んでいました。新幹線の中でその事を何度も何度も思い返しては九州から岡山に帰ってきた事がありました。それがつい先日の事でした。

それからは夏真ただ中、岡山ダルクの仲間と共に汗を拭いながら日々、プログラムを実践する日々です。アディクトのりゅうです。こんにちは。

僕は自分の弱さを人に出した事はありませんでした。虚勢を張る生き方。見栄っ張り、埋まらない寂しさを隠しました。人に認めてもらう為に生き、生きるのは人に認めてもらう為でした。自分がどうしたいのか分かりませんでした。生き辛かった。

19才の頃、薬を使うとそういう生き辛さは吹き飛びました。少しずつ大切な人との約束を破るようになりました。嘘を付くようになりました。それが自分になっていきました。周りは仕事を見つけている時期でした。僕も仕事を見つけなければいけないと東京に行きました。仕事をしている間は薬が止まっていた事もありましたが生き辛さはそのままでした。自分が何をしたいのかは無く、人に認めてもらう為、お金さえ有ればと闇雲に生きていました。

26才になった頃、仕事がいよいよなくなりました。その時期、人に褒められても自分は「何をやっているんだらう…」と強く思い、空虚感は募りました。内面的な引き金を引き、思い出したのがあの頃使っていた薬の事でした。僕は薬を使いました。不快な思いは一瞬で消えました。それからは止まりませんでした。10代の頃と違い、恐ろしい程に急速に大切なものが次から次へと無くなっていきました。そうなれば、そうなると余計に薬が手放せなくなりました。薬しか頼れませんでした。子供が生まれた事もありました。養子に出しました。僕は薬の事しか考えられませんでした。本当になにもかももの全てが零れ落ちて最後の最後まで薬でした。もう、全てがボロボロでした。生きる事がどうにもならなくなりました。

29才、ダルクに繋がりの痛みを持つ人達に出会いました。ダルクには仲間とプログラムがありました。仲間は薬物が手から離れ苦しい僕を支えてくれました。あの時期は、本当にありがとう。勿論、今も支えられています。ありがとう。

ここまで読んで頂き、有難うございました。最後に、未だ繋がっていない仲間がどこかで仲間に出会えます様に…連打っ

『健康な心 ～回復が楽しくなってきた～』
カメ(4フェーズ)



こんにちは依存症のカメです。

前回のニュースレターからあつという間に一ヶ月が過ぎましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も猛暑日が続いているので日中の暑さに参っていますが、働いている人にとっては、この暑さを理由に休む訳にはいかないのだと思いますし、継続的に体調管理などの工夫もされているのだと思います。

5月から週に一度、就労移行支援の一環として、引きこもりサポートセンターへ通わせて頂いています。継続して自転車で通い続けられるよう、普段からジョギングをして汗を流し、体調管理をしていました。

過去の自分と言えば無関心さや怠惰さによってあらゆる嫌な事から逃げていました。クスリの酔いに任せて虚勢を張り、幻想の世界に浸り込む事で僕のエゴは満足していました。社会的な事を何も知らないまま、部屋に引きこもり、世の中も変わって行きました。どんなにクスリを使っても、僕の劣等感や疎外感は埋まらず、自分が可哀想という想いから抜け出せないまま時間だけが過ぎて行きました。岡山ダルクに来て自分と似た経験をした仲間たちと出会いました。

先日、名古屋で行われたリージョナルコンベンションの参加も、コロナが明けて久しぶりの開催ということもあって、多くの仲間の経験を聞き、フェロシップを通して改めて同じ仲間という認識が深まりました。依存症という同じ問題を抱えている多くのアディクトが年に一度集まり、そこで分かち合われる経験には、笑いや涙があり、共感がありました。NAコンベンションやギャザリングなどのイベントでは、バンドライブやDJなどもあります。今回のコンベンション最終日に代表から、バンドライブに出場したいか？と聞かれた時に迷わずハイと答えました。過去の薬物使用とバンド活動は現実から逃げる為の手段でしか無かったのですが、岡山ダルクに繋がり11年のクリーンタイムを迎える事が出来たのも、プログラムの実践の出来る環境と仲間のサポートのおかげです。

僕が仲間伝えてもらった事を手渡ししながら、業務のお手伝いや就労活動をさせて頂き最近では調理番長の役割に就かせてもらいました。

あつという間に1日が終わるのですが、与え貰った役割をやりながら時間を有効に使い、健康な心を取り戻しています。ここまで読んで頂いてありがとうございました。

『表と裏・裏と表と感謝』 ジミー(2フェーズ)



こんにちは。依存症のジミーです。岡山に来て7ヶ月が過ぎ7月9日にクリーン7ヶ月になり、この日は私の誕生日でもあり70歳になりました。しかしながら70歳といっても、まだまだ元気で生かされている事に感謝の毎日です。

私の過去の生き方は昭和48年に薬物に出会ってから昨年6月に刑務所を出所するまでの52年間は薬物と背中合わせの薬物中心の生き方をしてきました。その為に無くしたものは数えきれないほどあります。妻と離婚、子供とも会えなくなり、親の死に目にも会えず、大切な人達とも会えなくなり最後には刑務所8回も入ってしまいました。

前置きはこのぐらいにして今回でニュースレターは2回目になりました。現在2フェーズでステップ2, 3と進んでまいりました。この7ヶ月の間で色々な事を学ばせてもらっています。けして良い事ばかりじゃありませんでした。地元福岡の方に帰りたいと思った事も一度や二度じゃありませんでした。70歳になっても様々な感情も出ます。過去の生き方は人に気を使って生活してきましたので一人でゆっくり老後の生活をしたいと思うのも事実です。

しかしながら過去の生き方で自分の考えで生きていたからこそ薬物に負けてしまい70歳になるまで気付けなかった自分がいます。新しい生き方をするには又、依存症の病気と向き合っていくにはプログラムと12ステップの実践と行動しかないとも改めてわからせてもらっています。

先日、NAのコンベンションに参加させてもらいました。この7ヶ月の間に仲間がいっぱい増えましたし、コンベンションの時にも声をかけてもらった事にも感謝しておりますし、回復しておられる多くの先行く仲間の体験談を聞く事も感謝として受け入れる事が出来ています。

又、で2回目ではありますが保護観察所集団プログラムに参加させてもらうようになりました。保護観察所は検察庁の中にあります。8回も薬物にて刑務所に行っていますので、過去はワッパをはめられて裏門から入っていたのに回復の道を歩み始めた現実には検察庁の表玄関からワッパもなく入れた事に感動と感謝の気持ちに変えさせてもらいました。

私達は必ず回復するという事もこの保護観察所集団プログラムに参加する事で私の心も開けてきて、プログラムを実践していく事で回復の道が信じられるようになりました。

これからは自分の考えを捨て、過去の経験が生きた経験につながっていけるように12ステップに従い回復への夢を一步一步と進めて行きます。コンベンションや保護観察所集団プログラムに参加出来た事に感謝します。又、生かされている事にも感謝です。やっと薬物の無い新しい生き方に出会えて良かった。ありがとうございました。

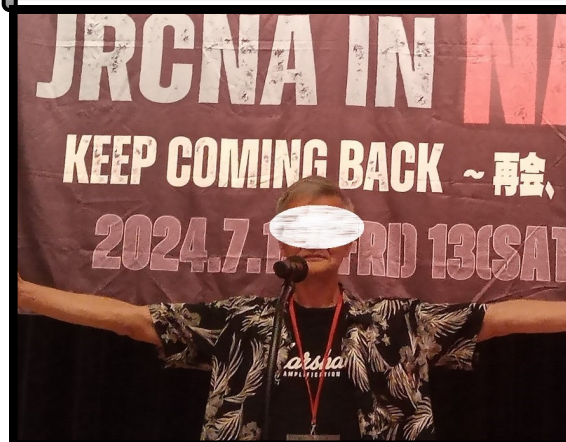
岡山ダルク活動写真



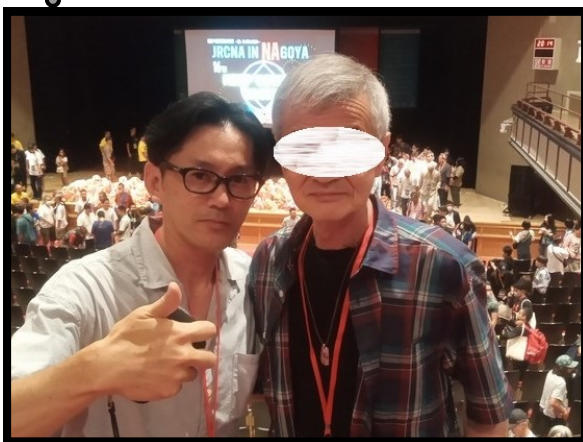
プログラム風景です。回復の原理を手渡す・・・12ステップの実践に役立てます
アディクションに頼らない生き方を身に付けます



講師を招き、カンセック神戸のプログラムを定期的に行っています
自分の感情と向き合います。過去のうつ積した感情を整理します



自助グループのコンベンション(イベント)に参加しました
仲間と共に・・・新しい生き方を分かち合いました



コンベンションでは見渡す限り仲間ばかり
アディクションで苦しんでいるのは自分一人ではありません。絆をありがとう



定期的にボランティアに参加しています
今回は備前大橋ボランティア



岡山県精神科医療センターにてメッセージミーティング
経験・力・希望の分かち合いです。テーマは「絶望が希望に変わる」

岡山ダルク活動報告

- 令和6年
6月
- 4日 四国少年院薬物非行防止指導メッセージ
 - 5日 岡山県精神科医療センター内ダルクミーティング(メッセージ)
 - 8日 岡山家族会ぴあ
 - 9日 第10回青少年健全育成薬物乱用防止パレード
 - 11日 四国少年院薬物非行防止指導メッセージ
 - 11日 ヨーガ療法プログラム
 - 12日 岡山県精神科医療センター内ダルクミーティング(メッセージ)
 - 13日 岡山保護観察所 集団プログラム
 - 18日 四国少年院薬物非行防止指導メッセージ
 - 18日 ヨーガ療法プログラム
 - 20日 瀬戸内市ボランティア連絡協議会
 - 22日 アディクション(依存症)を語る集い2024in鳥取
 - 25日 四国少年院薬物非行防止指導メッセージ
 - 26日 岡山県精神科医療センター内ダルクミーティング(メッセージ)
 - 27日 岡山保護観察所 集団プログラム
 - 29日 カウンセリング神戸(1日目)

- 令和6年
7月
- 2日 四国少年院薬物非行防止指導メッセージ
 - 3日 岡山県精神科医療センター内ダルクミーティング(メッセージ)
 - 4日 岡山ダルク見学(病院関係者)
 - 9日 四国少年院薬物非行防止指導メッセージ
 - 9日 ヨーガ療法プログラム
 - 10日 岡山県精神科医療センター内ダルクミーティング(メッセージ)
 - 13日 岡山家族会ぴあ
 - 23日 四国少年院薬物非行防止指導メッセージ
 - 23日 高松矯正管区長 表彰式
 - 24日 岡山県精神科医療センター内ダルクミーティング(メッセージ)
 - 25日 岡山保護観察所 集団プログラム
 - 25日 岡山刑務所薬物依存離脱指導(メッセージ)
 - 26日 四国少年院薬物非行防止指導メッセージ
 - 29日 関西圏ダルク責任者会議
 - 30日 四国少年院薬物非行防止指導メッセージ
 - 31日 岡山県精神科医療センター内ダルクミーティング(メッセージ)

岡山家族会びあのお知らせ

アルコール、シンナー、危険ドラッグ、覚せい剤、大麻、処方薬など、
薬物依存症の家族を抱えて悩んでいませんか？

ここはたくさんの仲間がいます。

1人で抱え込まないで、苦しみも喜びも分かち合いませんか？

秘密は固く守ります。薬物依存症は病気です。

共に学び、知識を得る事により、

問題の解決が出来る事を私達は信じています。

	家族会開催場所：	
	〒700-0807	
	岡山市北区南方2丁目13-1（旧国立岡山病院跡）	
	岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館（きらめきプラザ）	

家族会開催予定日一覧

令和6年 9月14日(土)
AM10:00～PM3:00

講師：鳥取・岡山ダルク代表
千坂 雅浩様

令和6年10月12日(土)
AM10:00～PM3:00

講師：茨城ダルク代表
日本ダルク理事長
岩井 喜代仁様

令和6年11月 9日(土)
AM10:00～PM3:00

講師：カウンセリング神戸代表
福屋 よしみ様

相談連絡先

●0857-72-1151（代表番号）

鳥取ダルク（AM10:00～PM5:00）

●0869-24-7522（代表番号）

岡山ダルク（AM10:00～PM5:00）

薬物問題を抱える家族を私達は応援します

岡山家族会びあ

代表 松浦博彰・スタッフ一同

このニュースレターは、赤い羽根共同募金の配布金によって作成しています。

ご献金の御礼

岡山ダルクへ運営費をご寄付ありがとうございました。

岡山家族会びあ様 田中 みき子様 岡田 栄子様 高崎 和美様 中原 さつき様
中村 証二様 藤原 尚様 永見 俊行様 那須トラピスト修道院様 山田 美津江様
医療法人コミュノテ風と虹 理事長 堀川 公平様 倉吉福音ルーテル教会 勝原忠明・洋子様
岡山県精神科医療センター（青木様・越智様・横平様・兼信様・牧野様・久山様）
慈恵病院 堀井 茂男様 カウンセリング神戸 福屋 よしみ様 谷垣 礼様 田開 睦美様
行木 妙子様 上田 麻生様 岡本 学様 倉吉福音ルーテル教会 前田 俊和様
他匿名6名様（献金受付順）

令和6年6月7日～令和6年7月29日

その他、たくさんの方々にご心温まるご献品を頂きました。

岡山ダルク仲間一同感謝申し上げます

～ご献金欄は処理上お名前が前後します。ご了承ください～

— 御献品・御献金のお願い —

皆様のご家庭で不要となりました

日用品（シャンプー、ティッシュ、トイレットペーパー等）、

コーヒー・調味料がございましたらご献品ください。

当施設は自主運営をしていますので皆様からの

ご支援があつて初めて活動が出来ます。

何卒よろしくお願ひいたします。

NPO法人リカバリーポイント 岡山ダルク 千坂 雅浩

* 発送作業の簡略化の為、大変恐縮ながら郵便振替用紙を全員の方に同封させていただいております。どうぞご理解ください。* 原則として、郵便局で受け取る振込金受領表の写しを持って領収書に代えさせていただきます。特に必要のある方、及び『匿名希望』の方は、その旨を通信欄に、その都度お書きくださるようお願い致します。

◎岡山ダルク

〒701-4244 岡山県瀬戸内市邑久町福中477

◎郵便振替払込口座

○口座名 「岡山ダルクを支援する会」 ○記号番号 「01350-1-87638」
(当座 一三九店 87638)

発行人：岡山障害者団体定期刊行物協会 〒700-0973 岡山市北区下中野246-4 NPO岡山けんかれん内

大森 文太郎 頒価100円(会員は会費を含む) 8

平成12年9月20日 第三種郵便物認可(毎月1回25日発行)

令和6年7月13日発行 OSK増刊通巻1271号